

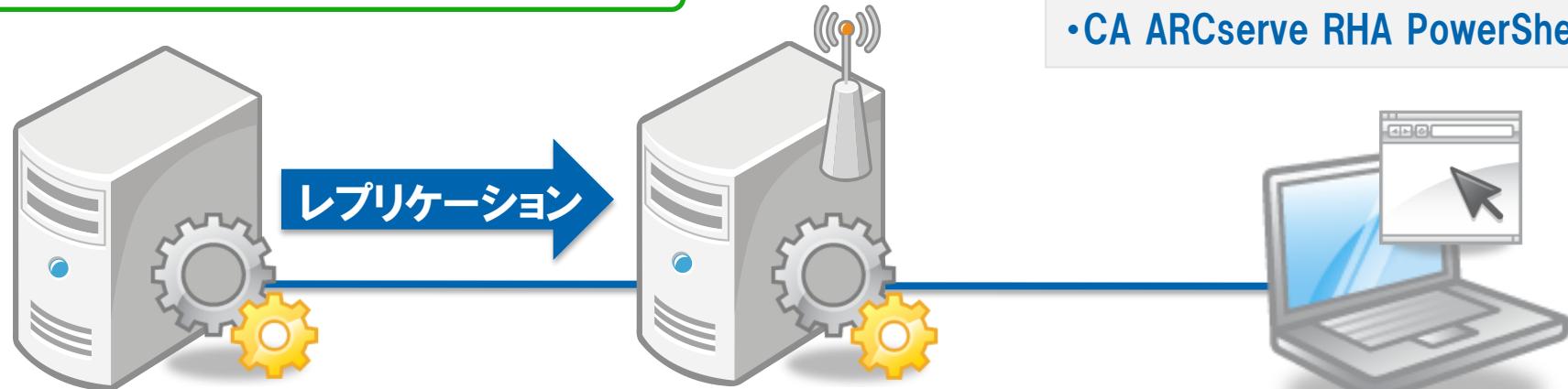
たったこれだけ！ ARCserve HA環境の構築

コンポーネントのインストール

レプリケーション運用開始までの流れ



CA ARCserve Replication/HA 構成例



マスター(複製元) サーバ

- CA ARCserve RHA エンジン

レプリカ(複製先) サーバ

- CA ARCserve RHA エンジン
- CA ARCserve RHA コントロール サービス

コンポーネントのインストール

CA ARCserve RHA エンジン

- レプリケーションやスイッチオーバーなどを実行するコンポーネント
- マスタサーバとレプリカサーバそれぞれにインストール



CA ARCserve RHA コントロールサービス

- エンジンやマネージャと通信し、レプリケーションの管理情報を集約するコンポーネント
- マスタサーバ・レプリカサーバと通信が可能なサーバーにインストール



CA ARCserve RHA マネージャ

- シナリオの操作をするための管理コンソール
- ActiveXコントロールとしてコントロールサービスサーバからダウンロードして使用



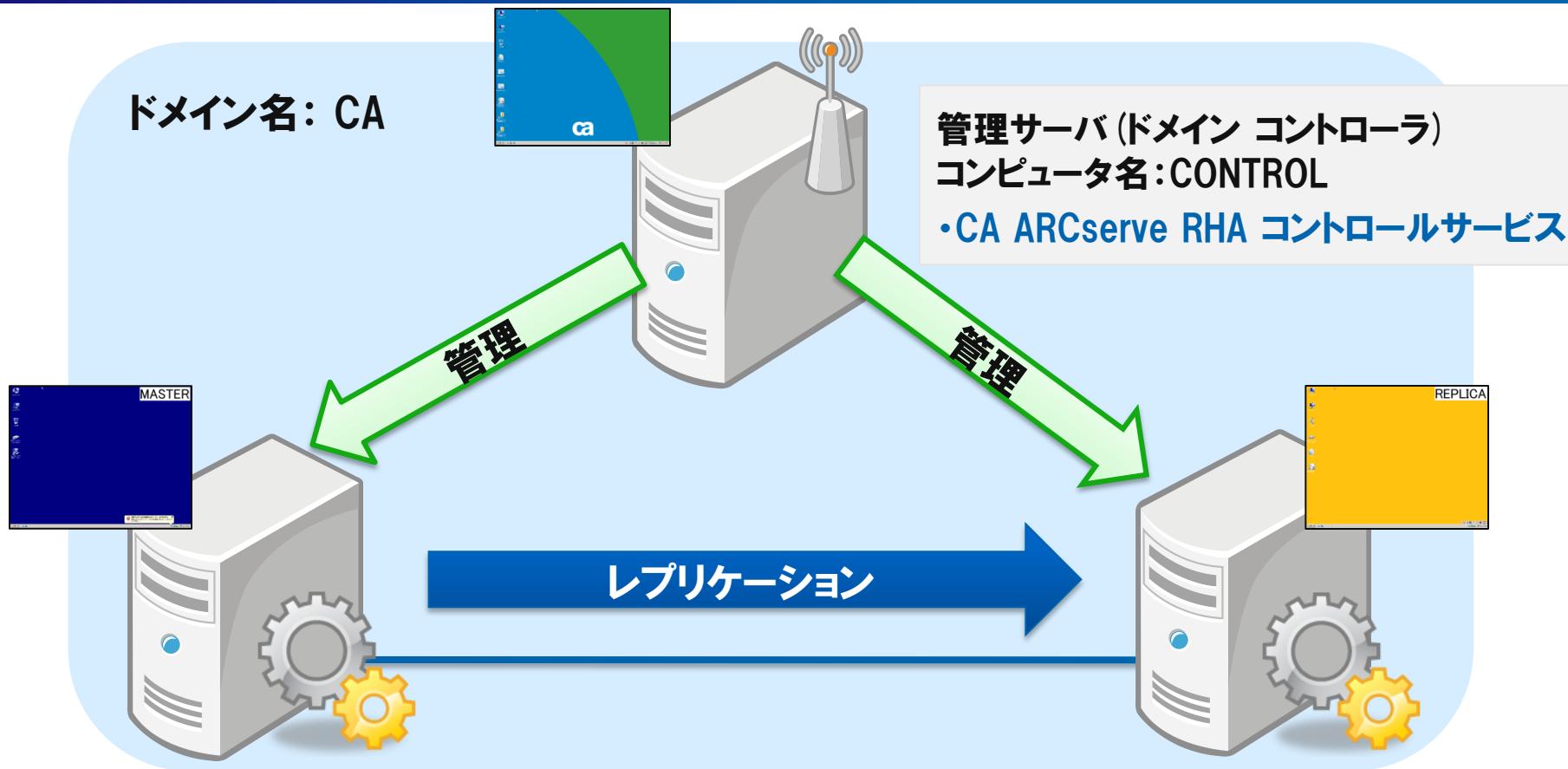
CA ARCserve RHA PowerShell

- コマンドラインでレプリケーションの管理をするためのコンポーネント
- コントロールサービスと通信が可能なコンピュータにインストール



ハンズオン環境

※ 今回は便宜上コントロールサービスをマスター/レプリカと分けてインストールしています。
コントロールサービス専用のサーバは必ずしも必要というわけではありません。



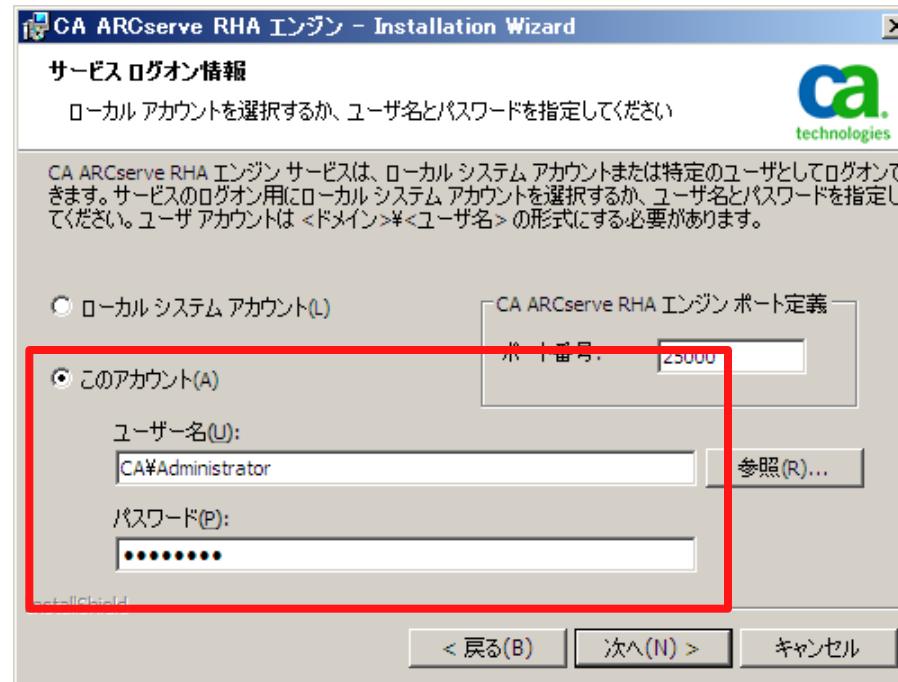
マスター(複製元) サーバ
コンピュータ名:MASTER
•CA ARCserve RHA エンジン

レプリカ(複製先) サーバ
コンピュータ名:REPLICA
•CA ARCserve RHA エンジン

参考：DNSリダイレクト利用時のポイント

マスター・レプリカにエンジンをインストール際、DNSサーバのAコードの変更権限を持ったユーザを指定する

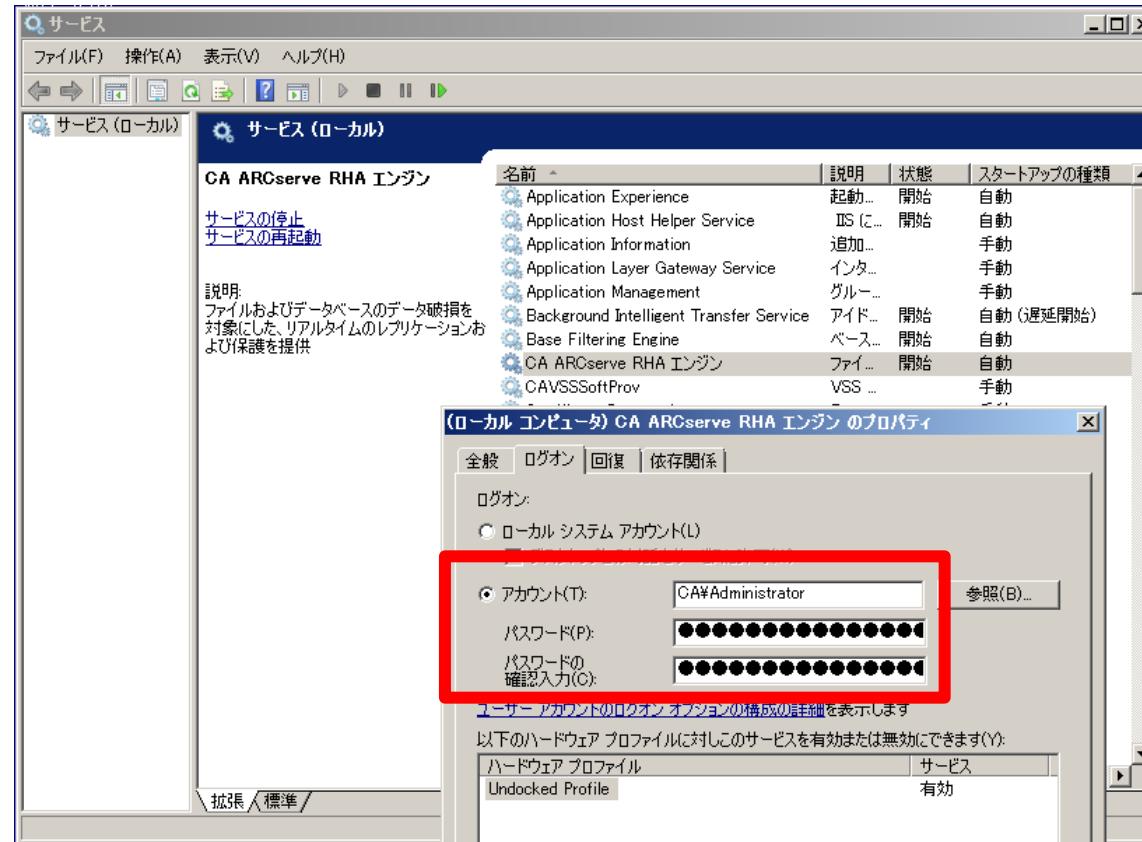
※ 運用の利便性を考慮し、ドメイン管理者権限を持ったユーザの指定を推奨



その他必要な権限については「CA ARCserve Replication/High Availability r16 インストールガイド」を参照ください。

参考:インストール後のサービス ログオンの変更

インストール後にアカウントを変更する場合には、サービスの一覧からサービスを選択し、ログオンアカウントを変更する



シナリオの設定

レプリケーション運用開始までの流れ



ウィザードベースのシナリオ作成

- ・シナリオとは … レプリケーションの実行のルール／ポリシー
- ・ウィザードベースのシナリオ作成画面の提供により、基本的なルールの作成が円滑に行える
- ・Microsoft SQL ServerやMicrosoft Exchange Serverなどのシナリオ作成時には、データベースや構成を自動的に認識するため、必要な設定を容易に行うことができる

※ プロパティの例

- ・スプールディレクトリの場所
- ・帯域幅の制限
- ・自動同期設定
- ・圧縮転送のOn/Off

同期処理の実行

レプリケーション運用開始までの流れ



3種類の同期モード

・ ファイルレベル同期モード

ファイルサーバなど、比較的小さいサイズで大量のファイルを同期するときに使う

・ ブロックレベル同期モード

データベースやメールサーバなど、比較的大きいサイズで少量のファイルを同期するときに使う

・ オフライン同期モード

WAN環境で大容量のデータを送る時に使う

※ 「同一サイズ / タイムスタンプのファイルを無視」とは？

同期処理の高速化のためのオプション

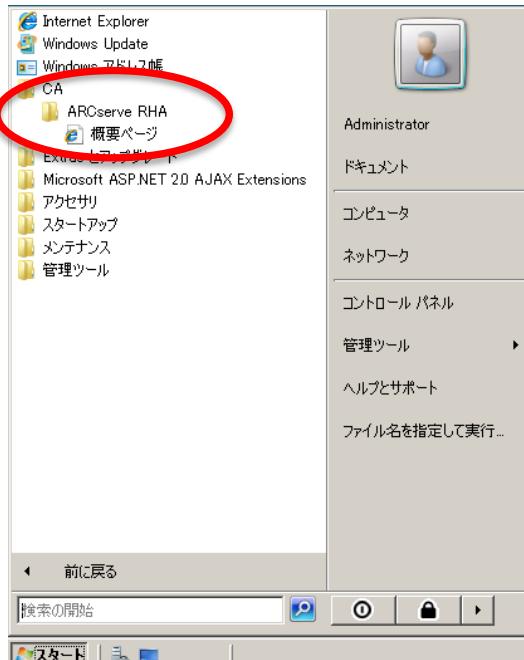
ファイルレベル同期モードでのみ使用

(ファイルレベル同期の場合) デフォルトでは「オン」

以下のシナリオを作成し、レプリケーションを始めます。

- > [サーバタイプ] は「ファイルサーバ」
- > [製品タイプ] は「ハイ アベイラビリティ シナリオ (HA)」
- > マスタサーバは「master」、レプリカサーバは「replica」
- > 「D:\\第1ソリューション営業部」というフォルダをレプリケーション
- > リダイレクション方式はデフォルトのまま
(「コンピュータ名の切り替え」と「DNSリダイレクト」を使用)
- > コンピュータ名の切り替え後に再起動を実行するように設定
- > その他の設定はデフォルトのまま

シナリオの設定と同期処理



ユーザ名: Administrator
パスワード: ARCserve
ドメイン: ca

管理サーバの [スタート] - [すべてのプログラム] - [CA] - [ARCserve RHA] - [概要ページ] にアクセスします



シナリオの設定と同期処理

The screenshot shows the CA ARCserve Replication/High Availability management interface. The title bar reads "CA ARCserve Replication/High Availability の概要 - Windows Internet Explorer". The URL in the address bar is "http://control:8088/start_page.aspx". The main content area displays the "ARCserve® REPLICATION and HIGH AVAILABILITY" logo. On the left, there's a "クイック スタート" (Quick Start) sidebar with various links, one of which, "シナリオ管理" (Scenario Management), is circled in red. The central part of the screen has three main sections: "サマリ" (Summary) showing scenario counts and error statistics; "シナリオのステータス" (Scenario Status) indicating no data to display; and a large "シナリオ" (Scenario) panel below. A green callout box at the bottom left points to the "シナリオ管理" link.

CA ARCserve Replication/High Availability の概要 - Windows Internet Explorer
http://control:8088/start_page.aspx

シナリオが定義されています。

ログイン: Administrator ドメイン: ca

クイック スタート

シナリオ管理 クリックするとシナリオを管理できます

レポートセンター クリックするとレポートセンターが開きます

サポートおよびコミュニティ アクセス

ビデオ

CA サポート

フィードバックの提供

ユーザ コミュニティディスカッション

エキスパートアドバイス センター

シナリオ

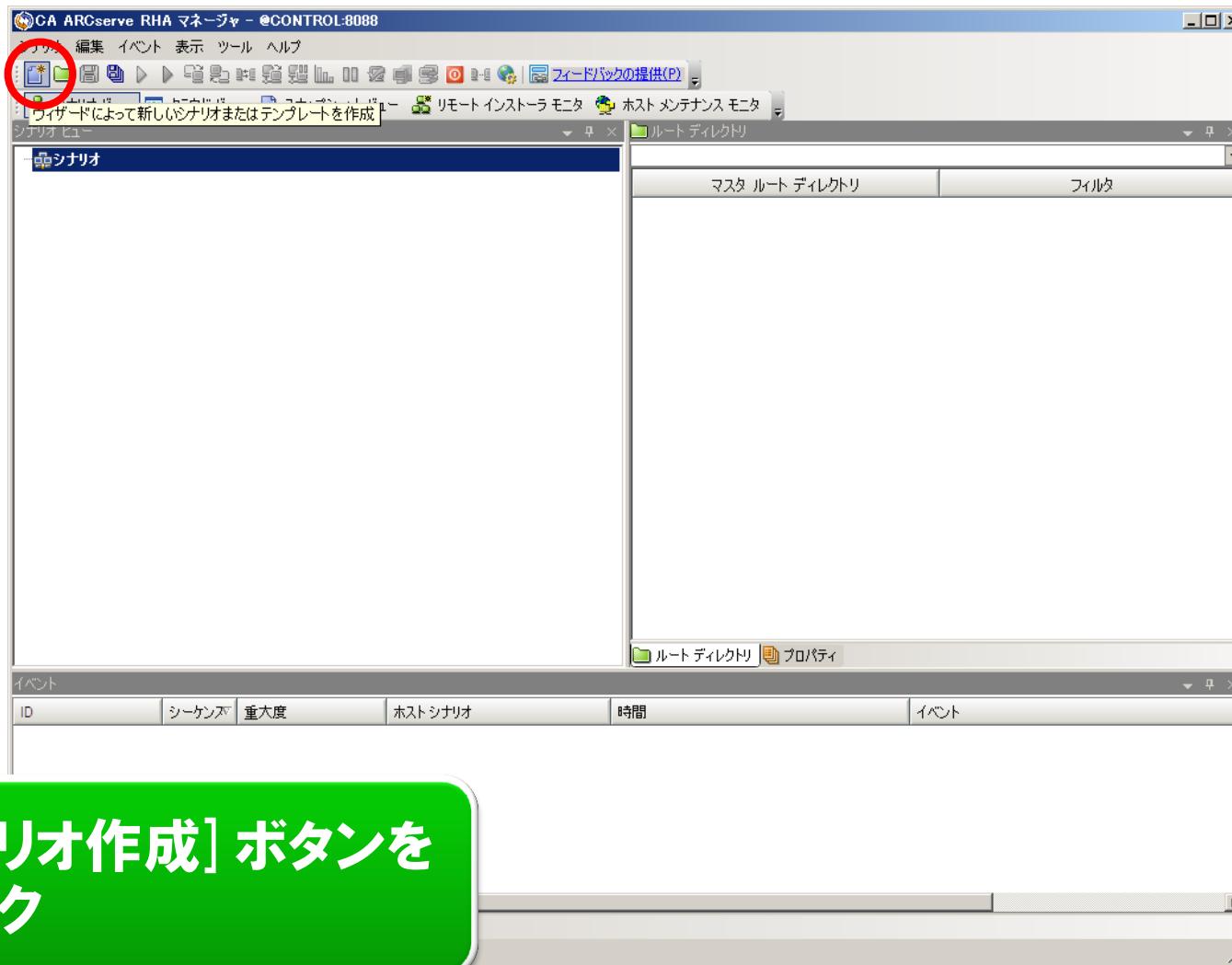
シナリオ総数	0
実行中のシナリオ	0
エラーによりシナリオが停止しました	0
シナリオはユーザーによって停止されました	0
スイッチオーバーのためにシナリオが停止しました	0
HM のシナリオの準備完了	0
アシュアードリカバリのテストを実行中	0
一時停止されたレプリカ	0
シナリオが未知の状態	0
エラー	0
警告	0

表示するデータがありません

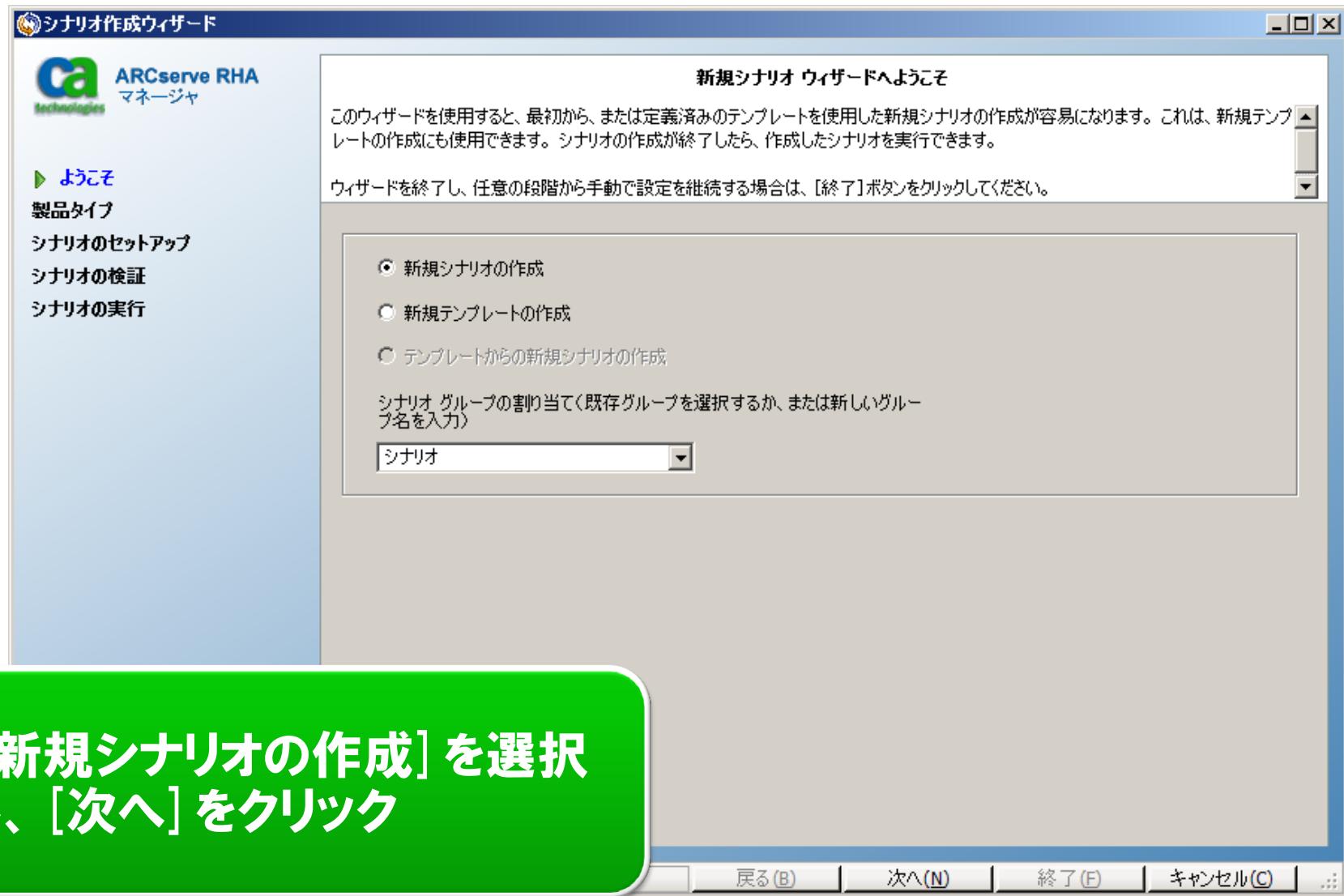
保護モード: 無効 100%

[シナリオ管理] をクリックし、マネージャ画面を起動します。

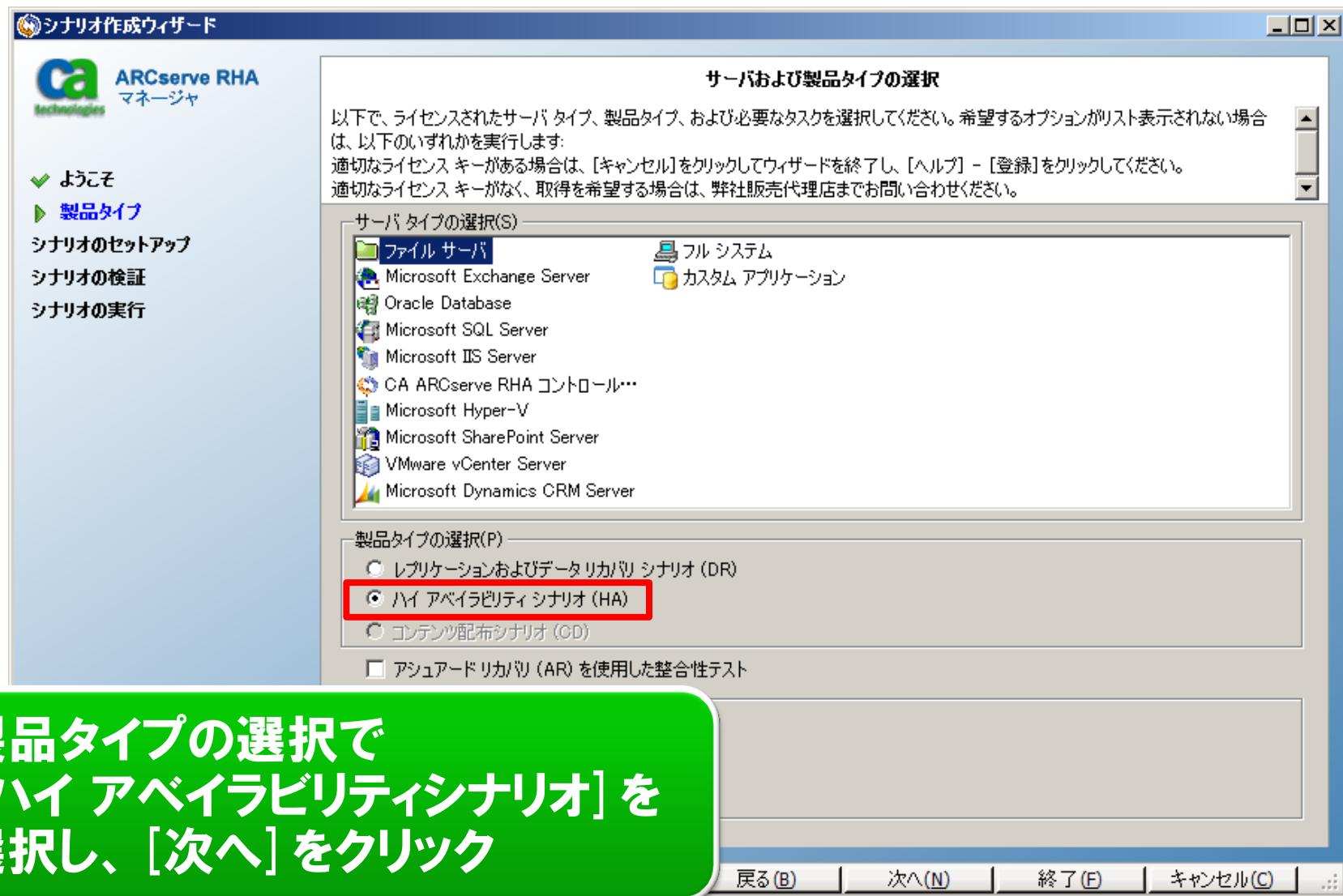
シナリオの設定と同期処理



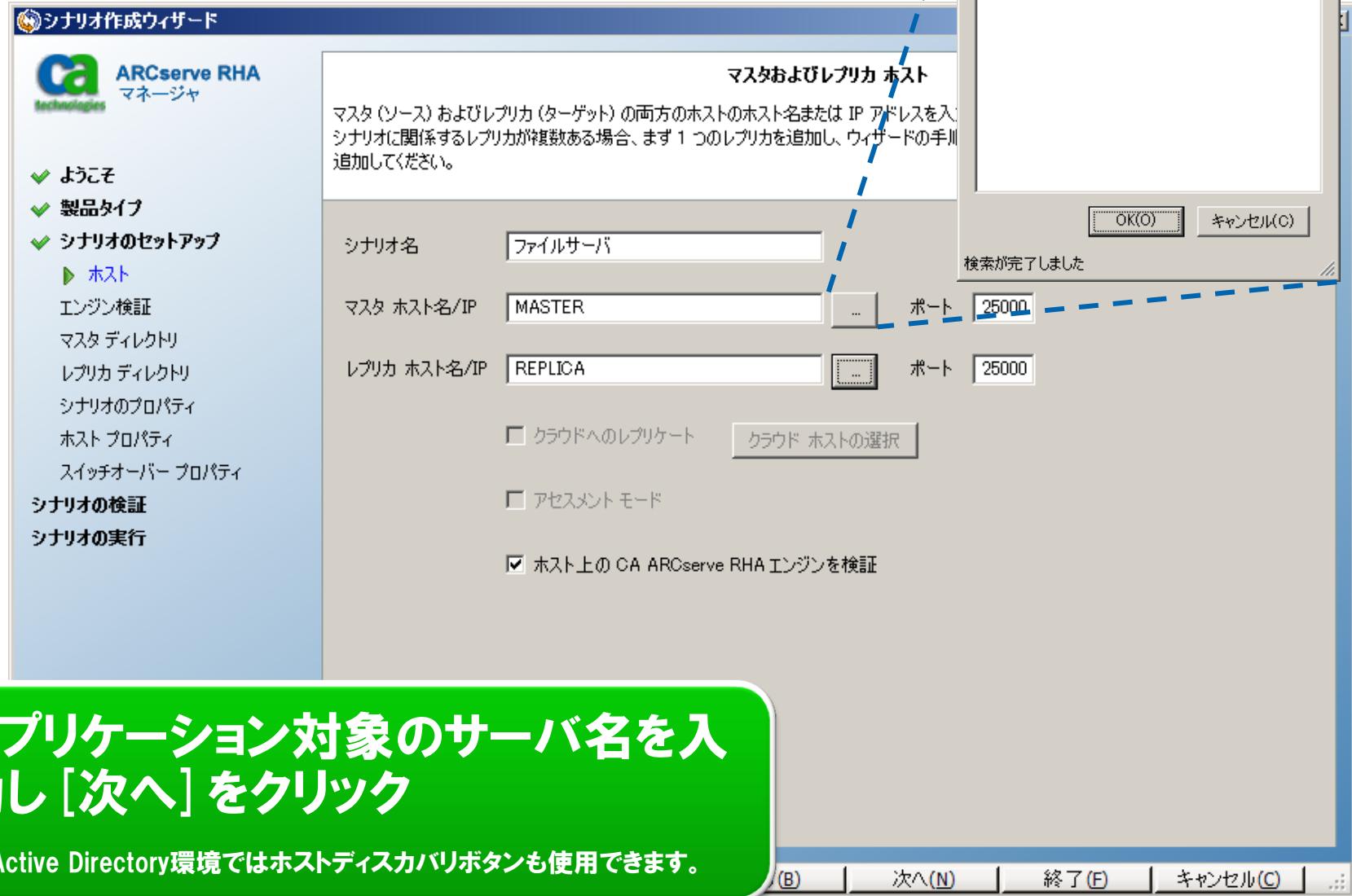
シナリオの設定と同期処理



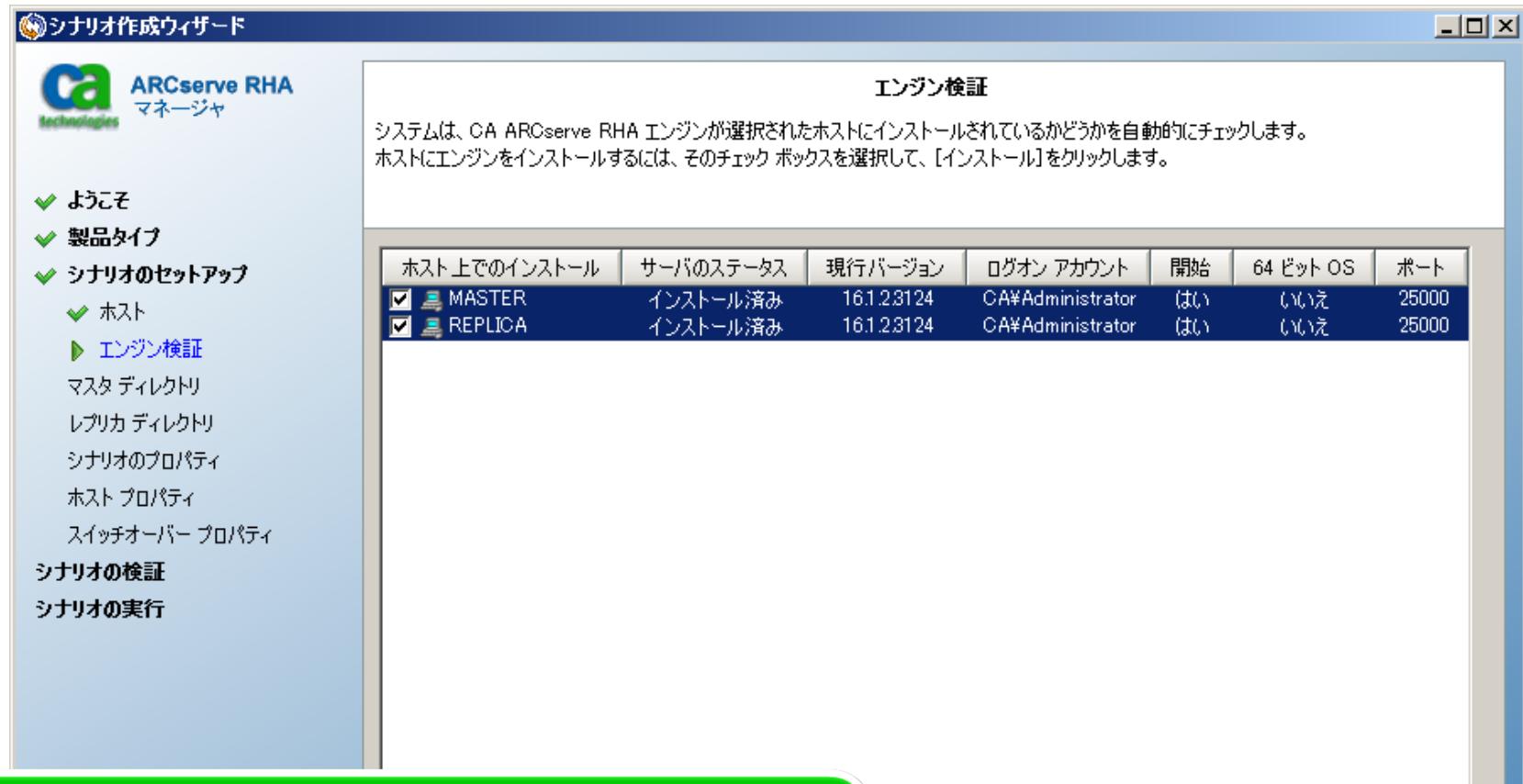
シナリオの設定と同期処理



シナリオの設定と同期処理

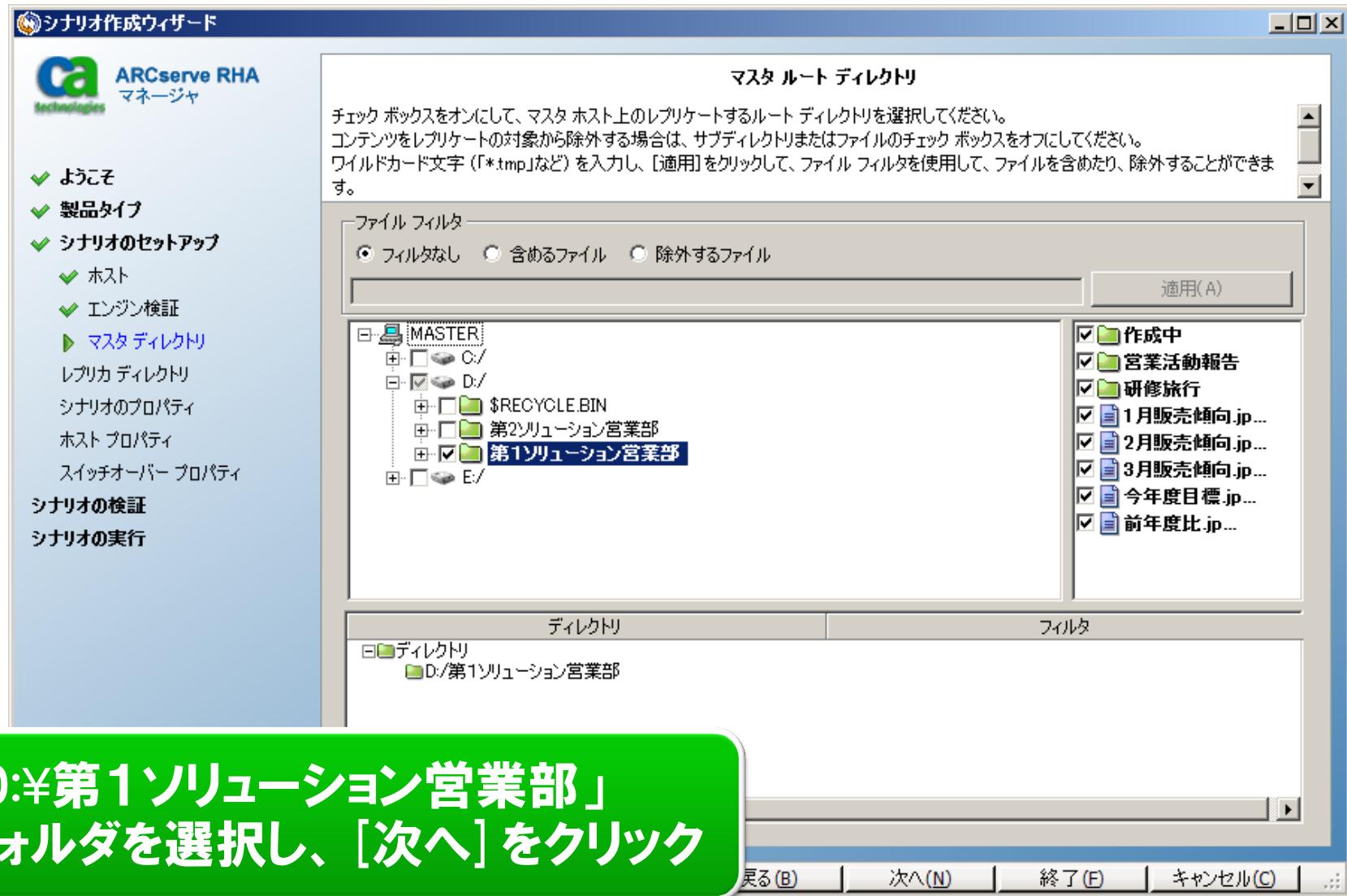


シナリオの設定と同期処理

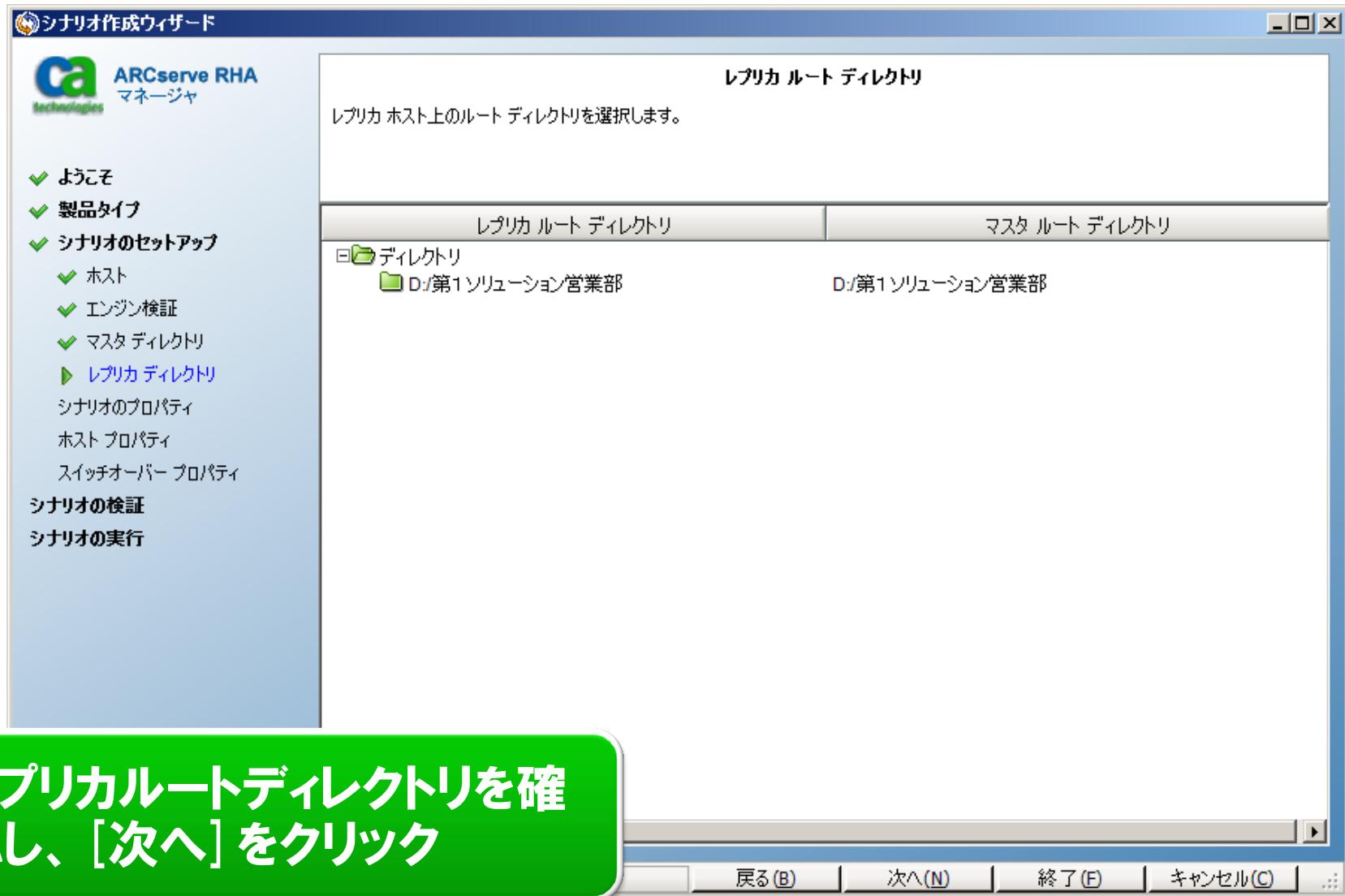


レプリケーション対象サーバにエンジンがインストールされている事を確認し [次へ] をクリック

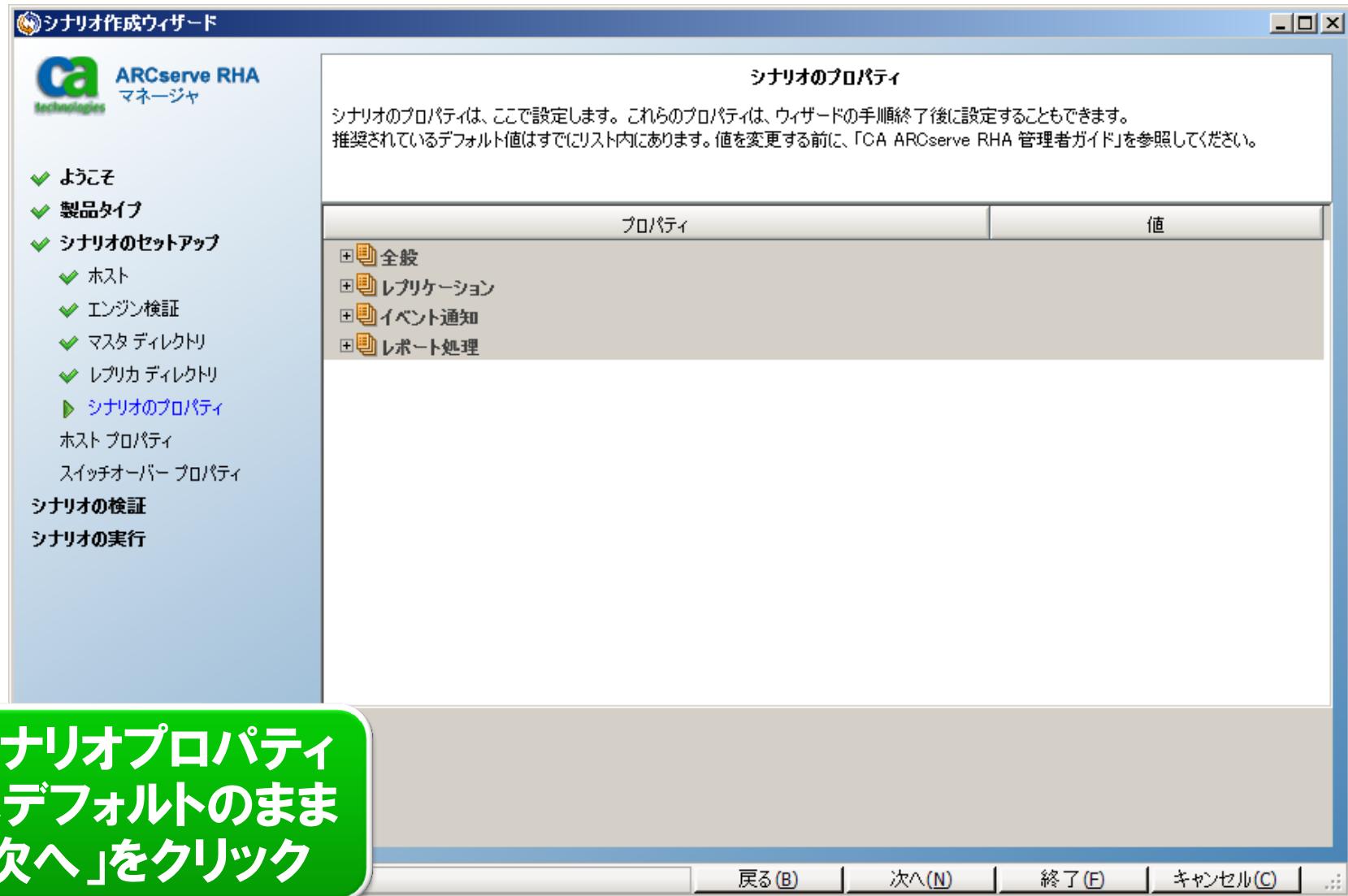
シナリオの設定と同期処理



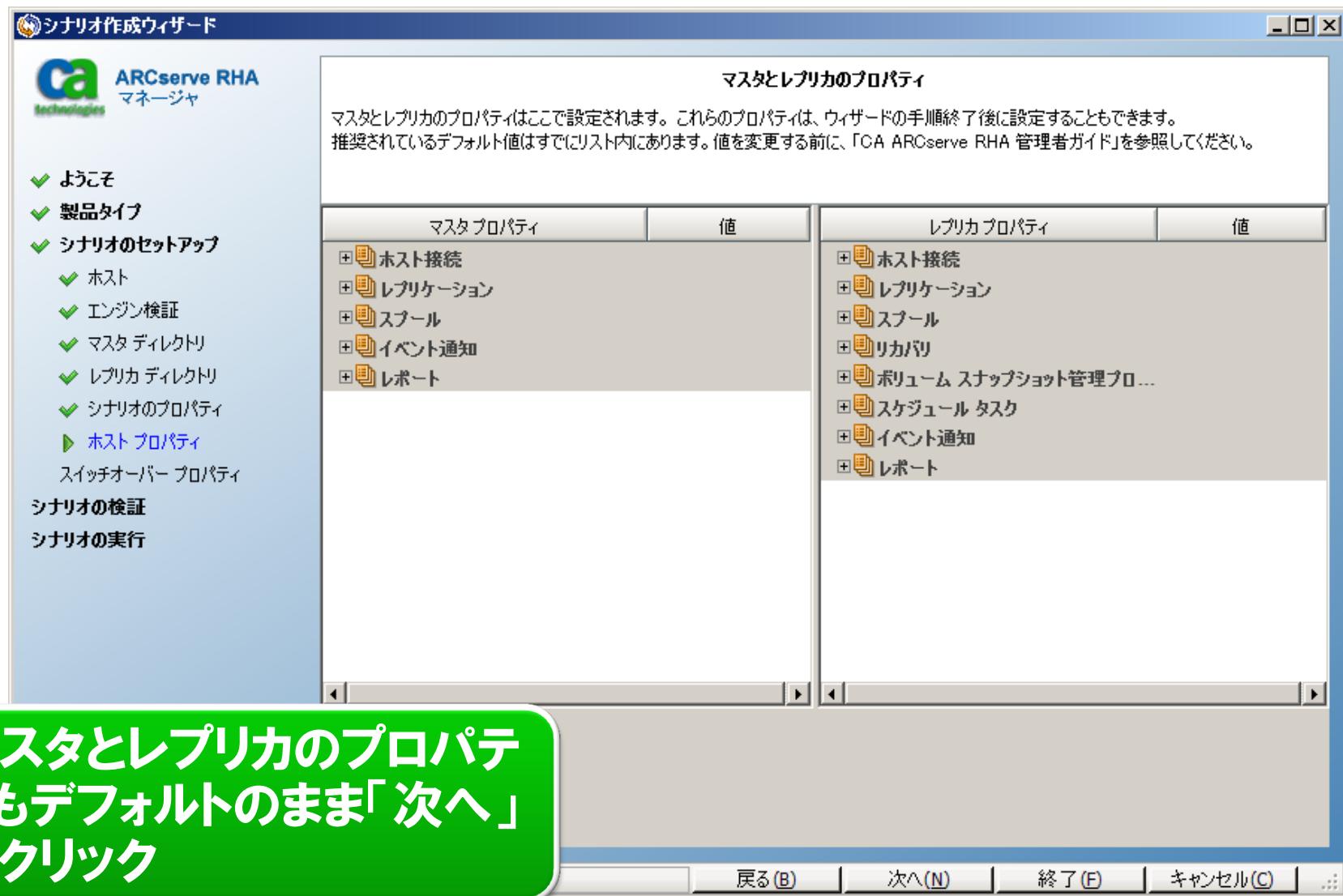
シナリオの設定と同期処理



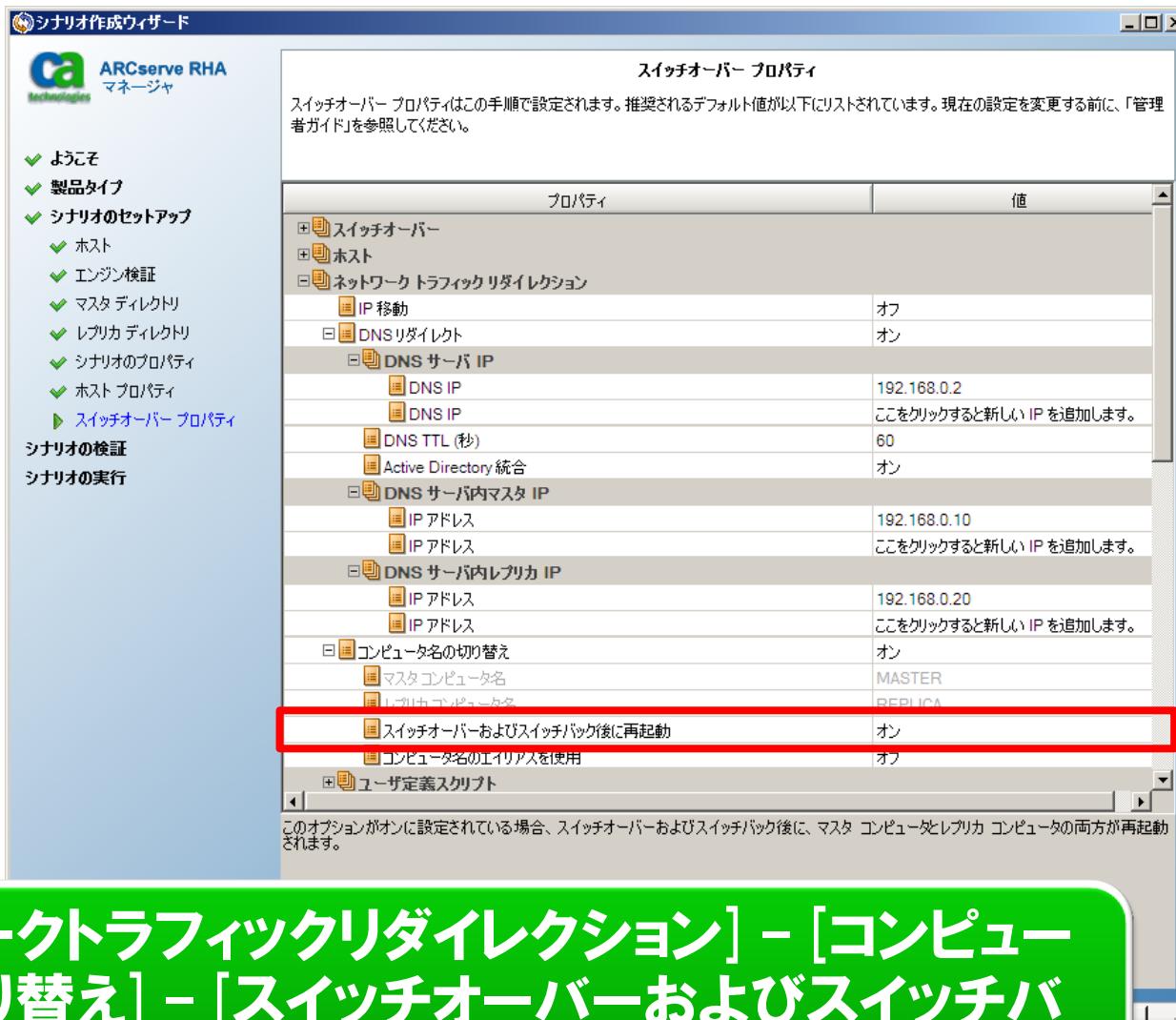
シナリオの設定と同期処理



シナリオの設定と同期処理

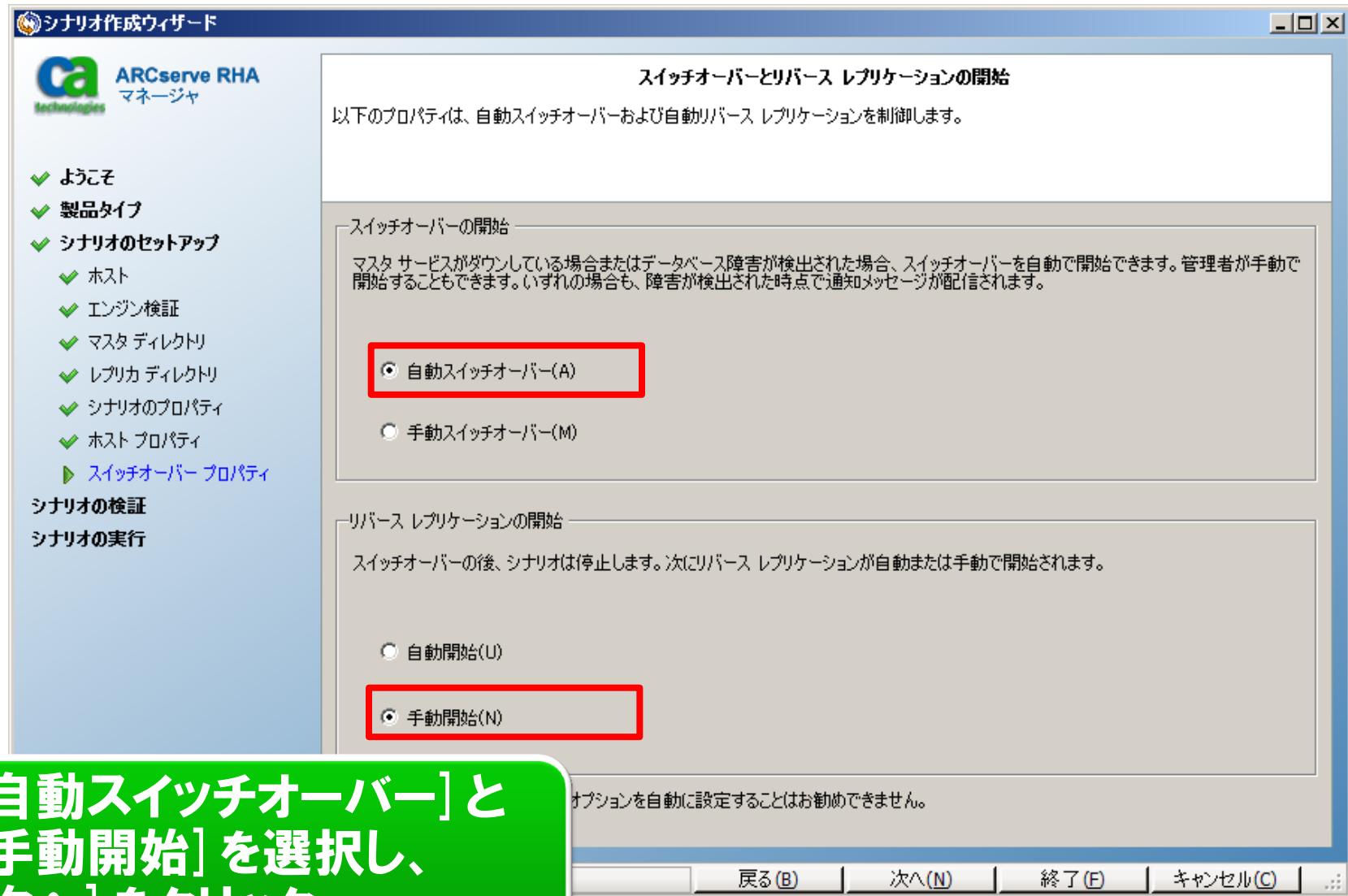


シナリオの設定と同期処理

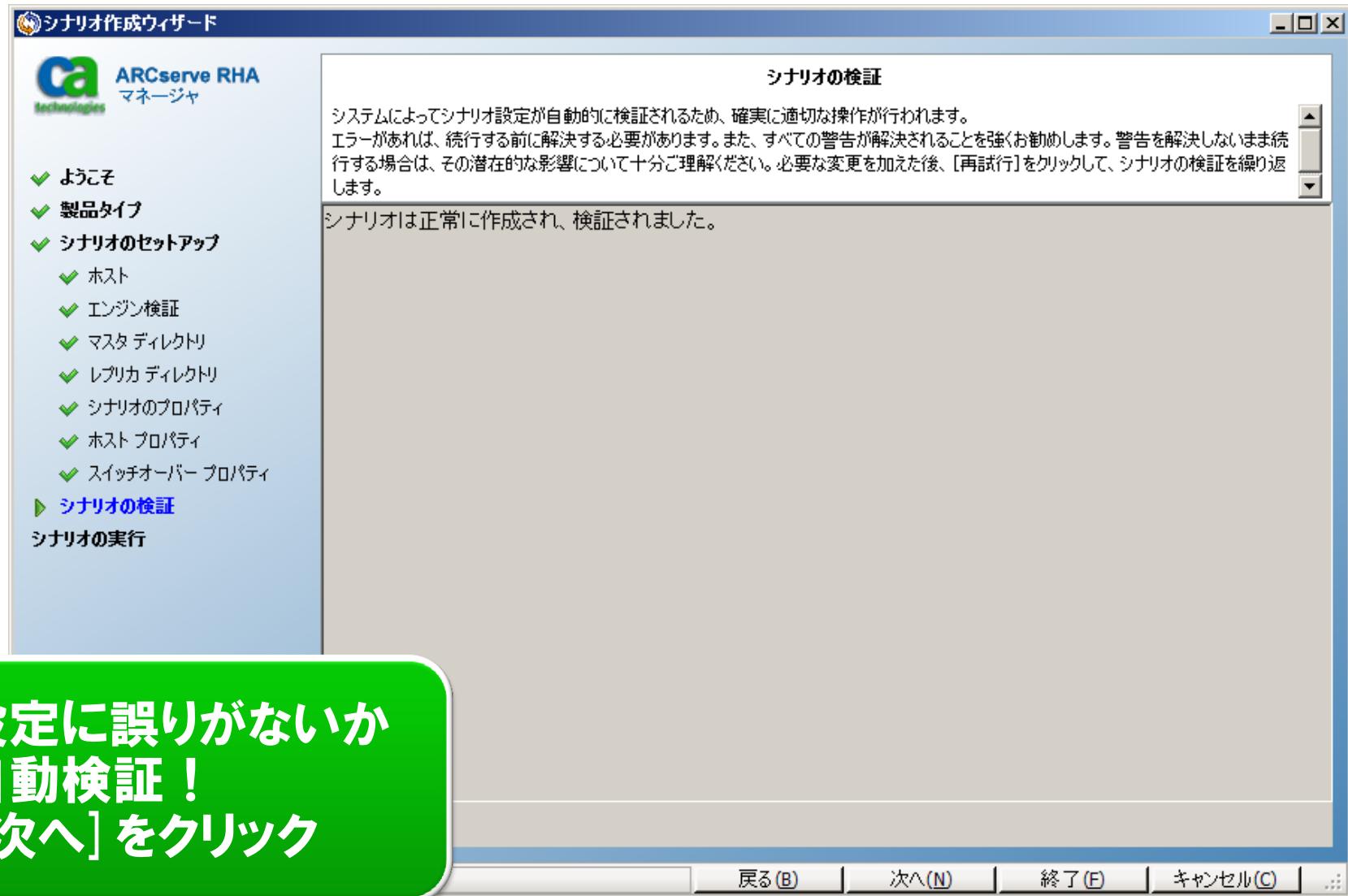


[ネットワーク トラフィック リダイレクション] - [コンピュータ名の切り替え] - [スイッチオーバーおよびスイッチバック後に再起動] を「オン」にし、[次へ] をクリック

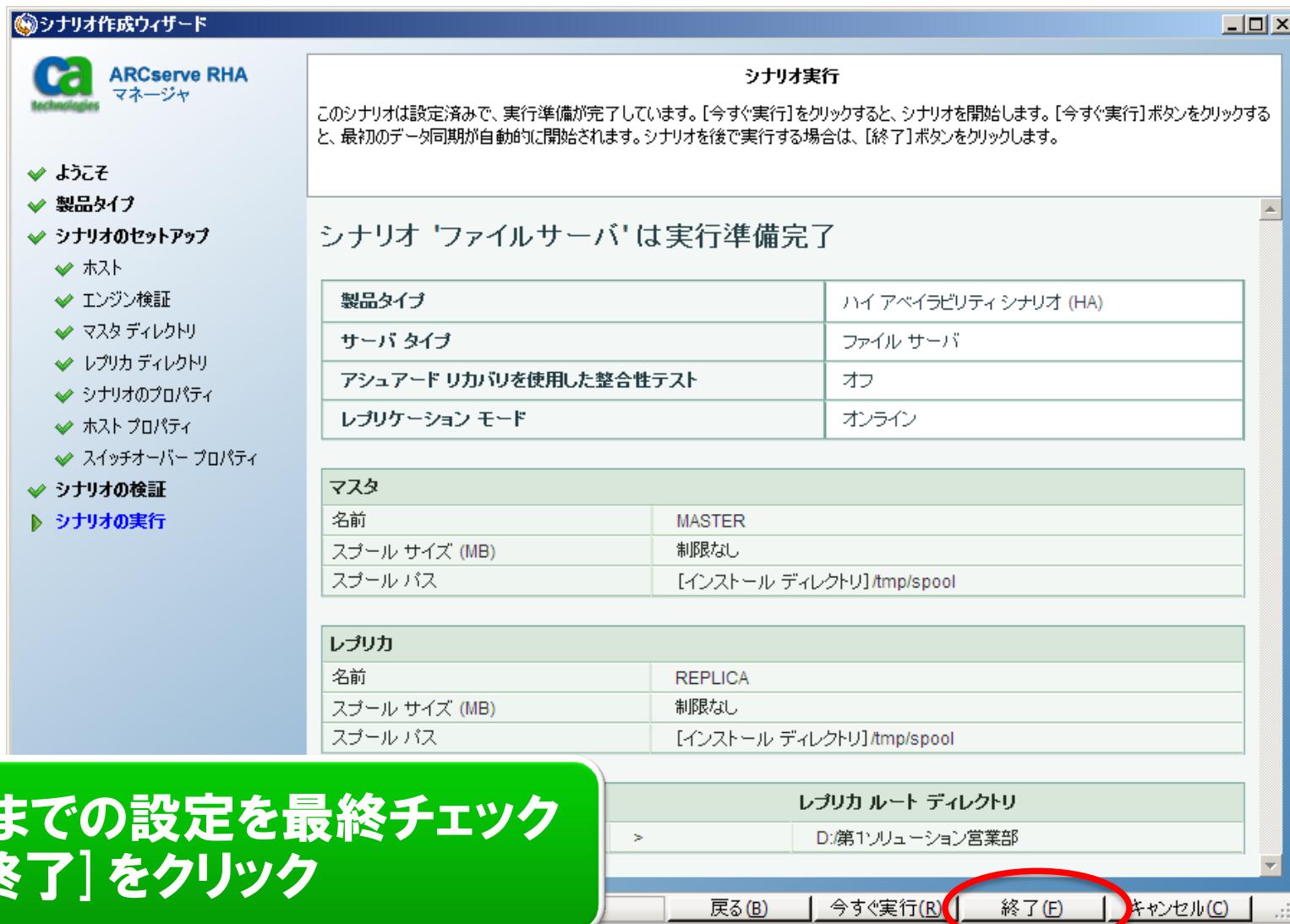
シナリオの設定と同期処理



シナリオの設定と同期処理

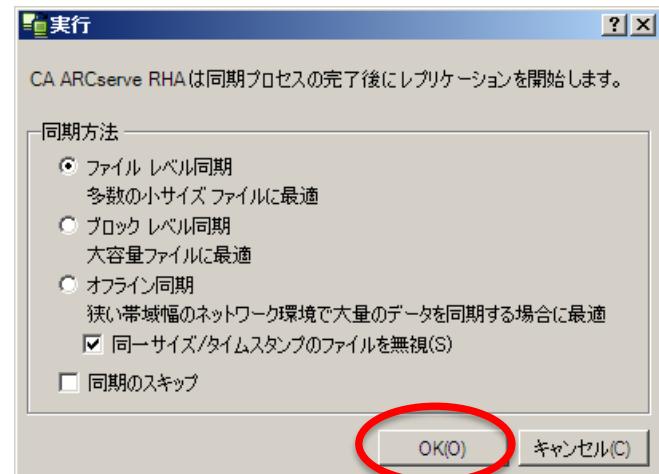
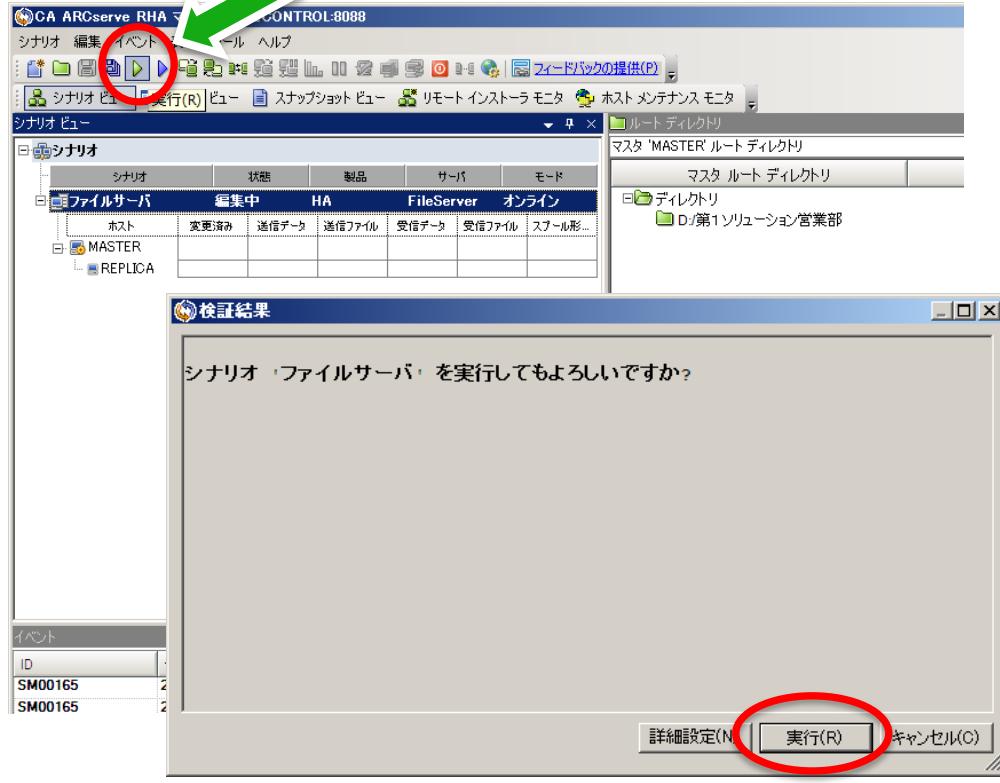


シナリオの設定と同期処理



シナリオの設定と同期処理

緑の三角をクリックして実行！



検証結果画面で、「実行」ボタンを
クリック

同期の方法を確認し、
[OK] をクリック

シナリオの設定と同期処理

CA ARCserve RHA マネージャ - @CONTROL:8088

シナリオ 編集 イベント 表示 ツール ヘルプ

シナリオ ビュー クラウド ビュー スナップショット ビュー リモートインストーラ モニタ ホストメンテナンス モニタ フィードバックの提供(P)

シナリオ ビュー

シナリオ

シナリオ	状態	製品	サーバ	モード		
ファイルサーバ	実行中	HA	FileServer	オンライン		
MASTER	変更済み 0.00 バイト	送信データ 0.00 バイト	送信ファイル 0	受信データ -	受信ファイル -	スプール形... 0.00 バイト
REPLICA	変更済み 0.00 バイト	-	-	送信データ 0.00 バイト	受信データ 0	受信ファイル 0.00 バイト

シナリオの統計情報

アクティブ MASTER

スタンバイ REPLICA

Is Alive

レプリケーション

ルートディレクトリ プロパティ ハイアベイラビリティプロパティ 統計情報

イベント

ID	シーケンス	重大度	ホストシナリオ	時間	イベント
SR00202	33	重要	REPLICA	2012/08/07 18:01:27	同期処理中の変更はすべてレプリケートされました
IM00405	32	情報	ファイルサーバ	2012/08/07 18:01:25	2012/08/07 18:01:25 に作成された同期 レポートを[レポート]へポストしています。
SR00120	30	重要	REPLICA	2012/08/07 18:01:25	同期処理が終了しました
IM00110	29	情報	REPLICA	2012/08/07 18:01:25	ルートディレクトリ 第1ソリューション 営業部 は同期されました
				18:01:19	ファイル 同期 を開始しています。同一サイズ/更新日時のファイルを無視する)
				18:01:19	共有が有効になりました
				18:01:19	共有を有効にしています
				18:01:15	シナリオ ファイルサーバ を開始しています
				18:00:16	REPLICA に接続しました

同期終了後、レプリケーションとマスター サーバの監視が始まります